



鎌田さん



衛藤さん

お話を伺いました方

株式会社 近畿大阪銀行 経営企画部

部長 鎌田 勝義 さん  
グループリーダー 衛藤 忠光 さん

鎌田さん

日頃の担当業務

銀行経営に関する企画全般

モットー

「精一杯やった」と思ったところから、もう一歩進められないかを考える。

趣味

カヌー、旅行

休日の過ごし方

アウトドアで、釣りや畑などを楽しむ

衛藤さん

日頃の担当業務

社の環境問題取組み・CSR 活動に関しての統括、  
関係省庁（金融庁・近畿財務局）等の対応、広報

モットー

人間万事塞翁が馬 因果応報

趣味

バレーボール、読書

休日の過ごし方

犬（チワワ）と散歩 バレーボールチームの指導・審判  
ワインを飲んで昼寝

## 近畿大阪銀行におけるCSR活動

**御社のCSR活動で、特に力を入れておられる分野は何ですか。また、具体的にはどのような取り組みを行っておられますか。**

近畿大阪銀行の持株会社であるりそなホールディングスでは、今年8月にISO26000を意識したグループCSR方針を制定しました。昨年度までは、色々な分野の社会貢献活動に、幅広く取り組んできましたが、今年度からはCSRを分野ごとに分け、それぞれの分野において活動をより深く進めてい

くこととなりました。

例えば、環境分野では、花のまちづくりエコ作戦、また、高齢者向けの商品やサービスの提供なども行っています。最近では新しいアイデアで、ATMに優先席を設けるというサービスを実践しています。

さらに、認知症への理解を深める講習を全行員に対し実施するなど、幅広く、様々な分野についてバランスよく、社会貢献活動を行っています。

昨年度は、株式会社近畿銀行と株式会社大阪銀行が合併してから10年という節目の年でした。

お客さまや地域に恩返ししたいという気持ちが行内にあり、何か社会貢献活動を実施しよう、とアイデアを募ったところ、認知症サポーター講習、森づくり活動などの案が出てきました。

近畿大阪銀行は地域金融機関ですので、「地域の中で暮らしていく」という発想が根本にあります。

おのずと、社会貢献も「地域に対する社会貢献を推進する」という考え方になっています。

## 大阪での森づくり活動

### アドプトフォレストに参加されたきっかけを教えてください。

昨年度、合併10周年を迎え、10周年記念プロジェクトとして、『ずっと大阪を、もっと元気に！』プロジェクトとして、社会貢献活動実施の話が立ち上がったのがきっかけです。

このプロジェクトは、お客さまや地域の皆さまへの感謝の気持ちを持ち、すべての社員が参加して地域に貢献できる、お客さまに愛される銀行を目指そうという取り組みです。

森づくりという面では、平成20年から社内で環境プロジェクトが発足し、財団法人 大阪みどりのトラスト協会にお手伝いいただき、泉佐野市にある「いずみの森」などで活動を実施してきました。

最初は簡単な作業から始め、次第に道を作ったり広場をつくったりできるようになり、だんだんと活動の幅が広がり、楽しみが増えてきたように思います。

### アドプトフォレストに対する、社内での評判はいかがですか。

活動後、参加者にアンケートを取るのですが、「楽しみながら木の名前や花の名前を覚えられて楽しかった」など前向きな感想が多く寄せられました。

活動に参加する最初の段階で、楽しんで始めることができ、参加者にとってはスタートの部分が

非常に好印象だったのだと思います。



新入社員研修での植樹風景

### アドプト活動の成果や、活動に取り組んで良かったと思える点はどんなところでしょうか。

今年度初めて、新入社員の研修で、植樹を行いました。昨年度まで集合研修は座学のみでしたが、今年は森づくり活動を研修に取り入れる試みを行いました。研修終了後、新入社員が記入する研修レポートがあるのですが、そのレポートの中でも、自然の大切さやチームワーク等、様々な「気付き」が見られました。

また、活動地がハイカーや登山者の目に触れるところで、作業をしていると「ありがとう」「お疲れさま」などと声を掛けて頂ける事があります。そのようなことがあると、やる気が生まれますし、「やってよかったな」という思いに繋がりますね。

さらに、これは近畿大阪銀行のホームページでも公開していますが、活動の指導に来ていただいたボランティアの方から手紙を頂いたこともありました。

<http://www.kinkiosakabank.co.jp/about/eco/forest.html>

銀行だけではできなかった、素晴らしい経験ができたと思っています。

### 森づくりを進めていく上では、長期的な視点が大切だと思いますが、長期間モチベーションを維持するためのポイントはどのような点だと思われますか。

まず、活動への入りやすさが重要だと思います。過度の負担を強いる必要はなく、楽しんでもらう

ことが大切だと思いますね。現在、社の取り組みの中では、イベントとしての要素をつくり、作業に没頭するだけに終わらないように心がけています。

いろいろな人に参加してもらうことが重要だと思います。

**社内でボランティア活動等に対し、何等かの支援制度を設けておられれば、その内容を教えてください。**

森づくり活動では、会社でバスを用意し、お弁当も負担しています。

また、森づくり活動に限らず、エコ休暇・ボランティア休暇という制度があります。エコ休暇は、環境プロジェクトからスタートしたもので、環境活動を行う際に利用することができます。

ボランティア休暇は、東日本大震災の発生をきっかけに創設された制度です。現在は震災復興のためのボランティアに利用されていますが、今後は用途を拡大していく予定です。

**これからの森づくり・アドプトフォレスト活動に対する思いをお聞かせください。**

今はまだ始めて間もなく、試行錯誤している段階です。長期的に、景気に左右されずに継続性を持って取り組んでいきたいと考えています。

銀行にとっても、過度に負担がかからない運営をと思っています。会社が段取りをするから植樹しなさい、と一方的な取り組みにするのでは無く、直接植樹に参加できない人にも参加意識を持ってもらえる取り組みにしていきたいと考えています。

また、住民・行政・企業が連携し、将来にわた

って末永く暮らしやすい社会をつくるために、活動を続けていきたいと考えています。バランスよく、地域の皆さんと一緒に進めていきたいですね。

実は、アドプトフォレストの活動地となっている交野市と近畿大阪銀行はつながりが深いんですよ。国の指定文化財となっている交野市の交野無尽は、近畿大阪銀行の前身です。ゆかりある地での森づくり活動ですので、活動の成果が地域に還るようにしていきたいと思っています。



**最後に、大阪府アドプトフォレスト制度や森づくり活動全般に対するご意見・ご要望があればお願い致します。**

まず、スタートの時点での取り組みやすさは重要だと思いますね。入口を入りやすい状態にしていくことで、参加していただける方は増えていくのではないかと思います。

また、長期的な視点で考えると、将来長く活動していく中での不安があります。他の企業の皆さんがどのように活動を継続しておられるのかぜひ知りたいという思いはありますね。参加企業同士の交流などがあれば良いと思います。

将来、今植えている木がどうなっていくのか、成長した木を見るのが楽しみです。

株式会社近畿大阪銀行さまでは、地域金融機関として、地元のために様々な活動を展開しておられます。

新入社員の皆さんの研修にも森づくり活動を取り入れて頂き、地域との交流を大切にしながら取り組みを進めてくださっていることを、心強く感じました。

インタビューー

大阪府 みどり・都市環境室 みどり推進課 森づくり支援グループ 上中 理恵子